

## PIERIA 美術イタリア語文法講座 レベル2 第5課

### 5.1. 代名小詞 **ci(vi)**, **ne** の機能と形態

#### 5.1. **ci(vi)**の機能 ⇒ 原則として「a+アルファ」を受ける

- 1) 「～へ」と方向性を表す前置詞句を受ける。

Vai alla stazione? **Ci** vado anch'io.

(君は駅へ行くの? 僕も行きます)

A Firenze **ci** sono tanti monumenti rinascimentali e **ci** lavorano parecchi restauratori.

(フィレンツェにはルネサンス期の名作がたくさんあり、そこでは多くの修復家が働いています)

\* 「a+アルファ」のみならず、「～へ」を表すその他の前置詞句でも、同じように **ci** を使うことができます。

Va in Italia? **Ci** andiamo anche noi.

(イタリアに行くんですか、私たちもそこに行くんです)

Vai dal dentista? . – No, non **ci** vado.

(君は歯医者へ行くの?) (いや、行かないよ)

- 2) **a** で始まる前置詞句を受ける。

この用法では、動詞や形容詞が前置詞 **a** を要求するということを知っておかなくてはなりません。

Lui riesce **a distinguere** le differenze tra i vini, ma io non **ci** riesco.

(彼はワインの違いが分かるが、私にはわからない)

\* この文の場合、ベースとして、**riuscire a ...** (～に成功する) があります。**ci** はこの文では **a distinguere** 以下を受けているわけです。

Maria compra un Boldini.                      - Non **ci** credo!

(マリアがボルディーニを買うんですって)                      (信じられません!)

\* この文の場合、ベースとして **credere a ...** (～を信じる) があります。

**ci** と **vi** は同義ですが、**vi** が用いられるのは、書き言葉や **ci** が2回続くとき、語調が悪いときなどです。

(略)

### 練習問題 (5)

I 次のイタリア語文を日本語に訳すこと。

- 1) Questa signorina ha visitato finora quattro musei.
- 2) A Emanuele piacciono gli impressionisti e ne parla sempre.

(略)

II 次の日本語をイタリア語に訳しなさい。

- 1) 私たちは昨日ブレラ美術館 (Pinacoteca di Brera) へ行き、カナレットの作品を見ました
- 2) 私はナポリの風景画 (veduta) をたくさん持っているんだ。1枚君にあげるよ。(ne を使って)

(略)

#### 【コラム 5：旧約聖書の登場人物】

旧約聖書 (Antico Testamento, Vecchio Testamento, Primo Testamento) の登場人物をと有名な作品名を見てみましょう。

アダム Adamo	人類初の男性。
エヴァ Eva	人類初の女性。
カイン Caino	アダムとエヴァの息子。農耕民となる。神がアベルの捧げ物のみを受け入れたので、腹を立ててアベルを殺害する。
アベル Abele	アダムとエヴァの息子。羊飼いとなる。

(略)

#### *Cazione di Adamo* 『アダムの創造』

ミケランジェロ・ブオナローティ ヴァチカン システィーナ礼拝堂 天井画

(略)